

社会・労働関係文献月録

2016.3.1～3.31 登録分

- ・分類表は2015年9・10月号(683・684号)に掲載されています。
- ・掲載文献は当研究所で閲覧・複写(セルフコピー10円/1枚)できます。
- ・来館せずに掲載文献の閲覧を希望する場合(依頼コピー)は、複写料金(依頼コピー40円/1枚)と送料実費で承ります。詳しくはお問い合わせください。
- ・本誌の定期購読者には、掲載文献の依頼コピー料金の割引(10円/1枚)がありますので、お申し出ください。

法政大学大原社会問題研究所編
〒194-0298 東京都町田市相原町4342
tel: 042-783-2305 fax: 042-783-2311
e-mail: oharains@adm.hosei.ac.jp

文献資料名 *書名 編著者名等 収録誌名 発行所 巻号 発行年月

I 理論・一般

0. 総記				
持続可能社会へのパラダイムシフトは可能か	早川行雄	連合総研レポートDIO	307	2015.9
1. ジェンダー・フェミニズム・女性論				
中川スミ著 青柳和身・森岡孝二編『資本主義と女性労働』(書評)	石田好江	大原社会問題研究所雑誌	682	2015.8
特集 新自由主義とジェンダー平等——政治学の視点から				
特集にあたって	原伸子	大原社会問題研究所雑誌	683・684	2015.9・10
マルクスの隠れ家の背後へ	ナンシー・フレイザー, 竹田杏子訳			
新自由主義の時代におけるフェミニズム, 市民社会	衛藤幹子			
男女共同参画そして「女性の活躍」は誰のため?	栗田隆子 コメント: 三山雅子	職場の人権	91	2015.7
佐藤千登勢著『アメリカの福祉改革とジェンダー——「福祉から就労へ」は成功したのか?』	原ひろみ	日本労働研究雑誌	658	2015.5
看護系大学生のジェンダー因子構造と親のイメージとの関連	坂口由紀子, 宍戸路佳, 久保恭子, 後藤恭一	教育学研究室紀要—(教育とジェンダー)研究—(女子栄養大)	12(最終号)	2015.5
大学生の性とジェンダー平等をとりまく現状	森岡真梨	教育学研究室紀要—(教育とジェンダー)研究—(女子栄養大)	12(最終号)	2015.5
ジェンダー・セクシュアリティの視点からみた海外の教科書	橋本紀子	教育学研究室紀要—(教育とジェンダー)研究—(女子栄養大)	12(最終号)	2015.5

3. 労使（資）関係論				
「働くこと」のゆくえ——生活を支えるしくみづくり——	連合総研	連合総研レポートDIO	306	2015.7・8 合併号
限定正社員制度と労使関係	熊沢誠, 現場報告: 稲岡次郎	職場の人権	90	2015.3
団交確認書の締結を拒否する行為と不当労働行為該当性	石崎由希子	中央労働時報	1193	2015.7
4. 労働経済論（含 賃金論）				
禹宗杭・連合総研編『現場力の再構築へ——発言と効率の視点から』（書評）	山垣真浩	大原社会問題研究所雑誌	682	2015.8
5. 経営労務論				
ドイツにおける商学士の雇用の開始	石塚史樹	大原社会問題研究所雑誌	682	2015.8
毛塚勝利編『事業再構築における労働法の役割』（書評）	米津孝司	大原社会問題研究所雑誌	683・ 684	2015.9・10
7. 社会保障論				
山岸敬和著『アメリカ医療制度の政治史——20世紀の経験とオバマケア』（書評）	大原利夫	大原社会問題研究所雑誌	683・ 684	2015.9・10
特集 ジェンダーと社会		季刊家計経済研究	107	2015. Summer
ジェンダーと社会（対談）	岩田三代 川口章			
なぜ女性の仕事は易しいと評価されるのか	金井郁			
地域移動におけるジェンダーと経済格差	山口恵子			
健康の性差	本庄かおり			
第二次安倍内閣における女性活躍推進政策	辻由希			
8. 社会福祉論				
土屋敦著『はじき出された子どもたち——社会的養護児童と「家庭」概念の歴史社会学』（書評）	沢山美果子	大原社会問題研究所雑誌	678	2015.4
10. 労働科学, 人間工学				
特集 ロボットと共に働く場所		労働の科学	70-4	2015.4
産業用ロボットの協働作業要件の安全規則への導入	池田博康			
産業用ロボットの安全性を確保する	小平紀生			
医療・福祉用ロボットの現段階とその未来	可部明克			
農作業ロボットの特徴と安全対策	菊池豊			
高齢化社会を支えるパワーアシストスーツ	八木栄一			
レスキューロボットコンテストの意義と役割	土井智晴			
高さ可変デスクを使用したデスクワークへの立位姿勢の導入が身体違和感, 被労, 下腿周径に及ぼす影響	鈴木一弥, 落合信寿, 茂木伸之, 山本崇之, 岸一見, 浅田晴之	労働科学	90-4	2014.8
11. 職業教育・能力開発・労働教育				
特集 シフトワークのリスクと改善		労働の科学	70-5	2015.5
夜勤・交代勤務版ミッシュラン「シフトワーク・チャレンジ」への階梯	佐々木司			
正循環夜勤シフトの導入で看護師にやさしい勤務へ	寺前八重			
交代勤務体制の改善に対する労使の取り組み	松ヶ迫剛			
長距離運行の安全を確保するには	鎌田佳伸			
消防職員の交替制勤務と仮眠環境の改善と整備	中村義彰			
13. レイズム, 差別				
エリック・ブライシュ著 明戸隆浩他訳『ヘイトスピーチ——表現の自由はどこまで認められるか』（書評）	榎透	大原社会問題研究所雑誌	678	2015.4

II 労働問題

20. 総記				
特集 働く者にとって望まれる「多様な働き方」の前提条件				
雇用社会の危機と労働法制の課題	毛塚勝利	連合総研レポート DIO	306	2015.7・8 合併号
「多様な働き方」における生活賃金の課題	藤原千沙			
フランスにおける非正規労働者への均等待遇制度	大山盛義			
労働者派遣における集団的労使関係の形成の課題	高橋賢司			
無償労働評価を政策に活かす方法を探る	橋本美由紀	地域政策研究(高崎経済大)	17-4	2015.3
21. 雇用・労働市場				
ブラジルの雇用と経済成長	浜口伸明	国民経済雑誌(神戸大)	211-2	2015.2
22. 労働条件				
若手研究者の任期制雇用の現状	小林淑恵	日本労働研究雑誌	660	2015.7
追い込まれた労働者がやっと立ち上がってきた	納富治郎	月刊全労連	222	2015.8
誰も経験したことのない国家的事業の中で労災防止への不 断の取り組みが続けられている	佐藤和幸, 新谷信幸	連合	28・5	2015.8
「授業アンケート」を組み込んだ大阪府の教員査定〈第2弾〉	山田潤	職場の人権	90	2015.3
23. 賃金問題				
2015年度地域最賃引き上げ状況と最低賃金制闘争の課題	金田豊	金属労働研究	136	2015.8
24. 労働時間・ワークライフバランス				
最近の労働時間制度の動きと現法制下における問題点と留意事項	中井智子	労働法学研究会報	2596	2015.5.1
26. 非正規労働				
生涯派遣、不安定雇用は社会を崩壊させる愚拳 派遣法強 行採決で9年前の約束破壊		金属労働研究	136	2015.8
28. 女性労働				
特集 女性研究者がかかえている困難と課題				
「第14回女性研究者・技術者全国シンポジウム」(日本科学者会議主催)を開催(シンポジウム)	伊藤セツ	婦人通信	681	2015.9
研究・教育を保障しない社会が育成するものとは?	松村比奈子			
厳しくなる研究者への道のり	蓑輪明子			
「女性活躍法」の問題点	酒井和子	月刊労働組合	615	2015.10
特別な取り組みがなくても女性が自然と存在している社会が いい	宇井直美	連合	28・5	2015.8
女性だけでなく男性も仕事と家庭が両立しやすい職場づくりを	大沼香絵	連合	28・6	2015.9
Towards Gender Equality at the Work Place—Women's Work Opportunities versus Life Style Preferences	FREY Urszula	社会システム研究(京大)	18	2015.3
特集 ライフイベントと共に輝くために 女性活躍時代の「セカンドキャリア」				
「長く働ける」「ステップアップできる」仕組みを	麓幸子	人材教育	320	2015.8
働き方の自由度を高めればキャリアと育児・介護の両立は可能	武石恵美子			
成果を公正に評価し、暗黙知を共有する	塚田聡			
30. 若年労働				
若年就業者の組織適応と不適応を分ける要因に関する実証研究	尾形真実哉	甲南経営研究(甲南大)	56-2	2015.9

特集 新規学卒者の採用を巡る課題		連合総研レポート DIO	308	2015.10
最近の新規学卒者の採用を巡る課題	上西充子			
日本の新卒採用の「真の課題」は何か?	豊田義博			
景気変動と新規学卒者の採用を巡る課題	太田聰一			
特集 若者労働問題の新局面 (2)		大原社会問題研究所雑誌	682	2015.8
NOと言えない若者への支援と労働法教育の取り組み	川村遼平			
若年労働問題への教育現場の対応	児美川孝一郎			
若年労働の変容と住まいの貧困	稲葉剛			
「ブラック企業」の普遍性と多面性	鈴木玲			
若年者の働く意欲・生きる意欲について	市川緑	大阪経大論集(大阪経済大)	66-1	2015.5
32. 障害者労働				
就労におけるコミュニケーション支援の最前線	朝日雅也	ノーマライゼーション	35-10	2015.10
33. 外国人労働				
外国人労働者の奴隷のような働き方は許せない		金属労働研究	136	2015.8
外国人労働者と企業	西川清之	経営学論集(龍谷大)	54-1・2	2014.9
外国人技能実習制度を見直して移民政策の議論を	結城康博	週刊社会保障	2828	2015.6.8
35. 労災、職業病、健康問題				
特集 大阪・泉南アスベスト国賠訴訟最高裁判決		労働法律旬報	1837	2015.4 上旬
大阪・泉南アスベスト国賠訴訟最高裁判決の意義と課題	鎌田幸夫			
大阪・泉南アスベスト国賠訴訟の経緯とこれからの課題	伊藤明子			
大阪・泉南アスベストの闘い	村松昭夫			
傷病手当金申請に関する協会健保の責任	福地祥夫	月刊全労連	225	2015.11

III 労働運動

40. 総記				
労働組合は必要だと思う人、つくろうと思う人	鈴木不二一	連合	28-5	2015.8
41. 労働組合・運動論				
特集 労働法制「改革」と労働組合運動の課題		経済科学通信	138	2015.9
労働法制改革の誤解	濱口桂一郎			
日本の労働者と「限定正社員」論	浅見和彦			
特集 組織拡大の新たな段階へ		月刊全労連	222	2015.8
現代の若者の意識と行動	中澤秀一			
オーストラリアにおける組織化	マイケル・クロスビー			
担い手をとことん広げ、力を集中した組織拡大運動を	根本隆			
青年が5年連続増勢の原動力	瀬谷哲也			
助け合い(全労連共済)で、組織の拡大強化を!	大内英明			
「仲間増やし」の芽は介護訪問する調査員の中にある	芳野孝			
埼玉土建の7年ぶりの組織実増を勝ち取った経験	戸石真樹			

42. ナショナルセンター					
「連合」運動への新たな期待	芹澤寿良	金属労働研究	136	2015.8	
特集 2015 連合サマートップセミナー					
成熟社会の中で働くことの意味と労働運動の役割 (講演)	宇野重規	連合	28 - 6	2015.9	
安倍政権は本当に強いのか (講演)	御厨貴				
男性正社員・長時間労働モデルを転換し 地域や家庭で役割を果たせる働き方改革を (パネルディスカッション)	パネリスト：佐藤博樹, 竹信三恵子, 大塚耕平, 古賀伸明 コーディネーター：宮本太郎				
労働運動にもオープンイノベーション なぜこの活動が必要かを掘り下げ合意形成 (パネルディスカッション)	パネリスト：神津里季生, 山崎弦一, 池富彰, 平田美穂, 篠田徹 コーディネーター：中村圭介				
「働くことを軸とする安心社会」の実現と労働組合の役割	氏家常雄, 逢見直人, 相原康伸, 有野正治, 眞中行雄, 加藤良輔, 工藤智司, 岸本薫, 永芳栄始, 松谷和重, 神津里季生				
労働規制・地方創生等をテーマに	編集部	連合	28 - 6	2015.9	
43. 地域別, 産業別共闘					
上部団体を超え非正規労働者の労働条件改善	木村俊二	月刊全労連	222	2015.8	
平和を守り要求実現へ 継続は力なり	松澤彰一	月刊全労連	225	2015.11	
金属労協が16年度活動方針を確認	荒川創太	月刊労働組合	615	2015.10	
44. 単産, 単組					
大衆団交は次厚労の伝統 みんなで考え, みんなで実行	坂本誠一	月刊全労連	222	2015.8	
地域に根を張り住民の命を守って60年	西岡健二	月刊全労連	225	2015.11	
総がかり作戦で嘱託・パート12人が加入	梅木威	月刊全労連	225	2015.11	
この人と1時間 (インタビュー)	川本淳	月刊労働組合	615	2015.10	
産別大会の討議から		月刊労働組合	615	2015.10	
48. リストラ・雇用対策					
特集 Long-Term Unemployment: Current Status and Countermeasures					
Mechanisms behind the Occurrence of Long-Term Unemployment and the Problems It Causes	Naoki Mitani	Japan labor review	12-3	2015. Summer	
Long-Term Unemployment in Japan in the Global Financial Crisis and Recession	Takehisa Shinozaki				
Occupational Inheritance	Atsushi Sannabe				
Outline and Effects of the Comprehensive Support Project for the Long-Term Unemployed	Eiichi Nomura				
Examining Potential Future Developments in the Principles of Employment Policy and Measures to Address Long-Term Unemployment in Japan	Yasuyuki Konishi				

49. 権利闘争							
18年かかって派遣社員から正社員に転換	武田裕司	月刊全労連	222	2015.8			
特集 労働契約法活かし格差是正を		月刊労働組合	615	2015.10			
日本郵政相手に集団提訴	森博行						
正社員と手当てで4倍の格差	なのはなユニオン内 陸バス分会						
職場を見つめ直す視点に	宮里邦雄						
51. 教育文化宣伝活動							
特集 全労連初級教育制度「労働組合入門わくわく講座」スタート		月刊全労連	222	2015.8			
職場・地域から「わくわく講座」を活用した一大学習運動をまきおこそう！	岩橋祐治						
役員づくりと地方組織への結集も強まる一石二鳥の講座	原英彦						
米百俵の精神で、みんなで学び、みんなで交流する	保科博一						
一組の男女が探り当てたこの世の真実	篠田徹	連合	28・5	2015.8			
ページをめくるたびに飛び込んでくる「運命」	篠田徹	連合	28・6	2015.9			
52. 労働組合と政治							
戦争法廃止の新たな国民運動	井上久	月刊全労連	225	2015.11			
大きく広がった戦争法反対の声		月刊労働組合	615	2015.10			
安全保障関連法案の成立に関する談話	神津里季生	月刊労働組合	615	2015.10			
戦争法案の強行可決に満身の怒りを持って抗議する	井上久	月刊労働組合	615	2015.10			
戦争法廃案求める大きな国民運動に比し、労組の立ち遅れをどのようにとりもどすか	生熊茂実	金属労働研究	136	2015.8			
民間労組、官公労決別を【櫻井よしこ 美しき勁き国へ】	櫻井よしこ、芹澤寿良	金属労働研究	136	2015.8			
安保法案までも強行採決の暴挙に出たことは極めて遺憾であり、強く抗議する	古賀伸明	連合	28・5	2015.8			
特集 18歳選挙権成立！ どうアプローチすればいいの？ 主権者教育 × 労働教育		連合	28・5	2015.8			
18歳のリアル							
「18歳選挙権」は爆発的に世の中を変える可能性を秘めている（インタビュー）	与良正男						
大人たちがモノ言う姿を見せることで若者の「考える力」と「議論する力」を高めていく	藤村博之						
入試小論文が問う「格差社会」はまさに18歳の若者たちが直面する現実（インタビュー）	大堀精一						
卒業生が4人の受講生に突撃インタビュー！（インタビュー）	春日大空、三好なつみ、北山望、松本大輝 インタビュアー：境友梨子						
9大学16人の学生と古賀会長が膝詰めディスカッション（討論）	編集部						
労働教育は主権者教育の第1ステップ（インタビュー）	木村裕士						
この危機を止められるのは世論の力しかない（インタビュー）	神津里季生				連合	28・5	2015.8
怒りの声を国会にぶつけて政権の暴走を阻止しよう（インタビュー）	神津里季生				連合	28・6	2015.9

IV 経営労務

61. 人的資源管理・人材活用・リストラ				
特集「多様な社員」の人材マネジメント——企業の成長にいかにか活かすか		ビジネス・レー バー・トレンド	482	2015.5
労働力減少時代への雇用システム改革（講演）	山田久			
イオンの多様な人材の活用について	石塚幸男			
クレディセゾンの多様な社員活用の取り組み	武田雅子			
日本アイ・ビー・エムの「多様な社員が活躍するために」	平林正樹	千葉商大論叢	52-2	2015.3
女性従業員の人的資源戦略と現場との整合性	奥寺葵			
64. 定年制，退職金，企業年金				
特集 企業年金における情報開示のあり方について		企業年金	429	2015.5
情報開示の必要性	柴健次			
企業年金制度における加入者に対する情報開示の必要性	上野雄史			
特集 HAPPY SECOND LIFE を迎えるための処方箋～やるべきこと，備えなければならぬことの棚卸しとして～		企業年金	430	2015.6
長寿リスクに備える老後資産形成のあり方とは（インタビュー）	和泉昭子			
長くなる高齢期を生きる	大高直美			
マクロ経済スライドに影響される将来の老後生活	田坂康夫			
企業は従業員にセカンドライフの準備をどう教えるか	山崎俊輔	企業年金	431	2015.7・8
特集 知っておきたい公的年金制度～安心・安定の老後生活を送るうえでの押さえておきたい～				
公的年金よもやまばなし	三宅明彦			
障害年金で悩まないために	塚越良也			
女性と年金の問題	永山悦子	企業年金	432	2015.9
特集 あらためて考える企業年金の資産運用～制度の持続可能性を高める運用とは～				
積立超過の下での年金資産運用について	近藤英男			
NEC 企業年金基金の資産運用の考え方	道明宏史			
積立超過の下での運用について	小倉浩一	週刊社会保障	2833	2015.7.13
有価証券報告書から見るわが国企業年金の資産運用	柳瀬典由			
66. 教育・訓練				
特集 経営者視点から従業員視点へ 働く人たちが元気になる組織活性化の秘訣		人材教育	317	2015.5
みんながやる気で，成果も上がる組織づくりに人事ができること（座談会）	西出恵美，島津明人， 香取一昭			
「支援」「勤勉」「創意工夫」が生まれる職場のつくり方	鈴木竜太			
社内公用語英語化は組織を強める最大の武器（インタビュー）	三木谷浩史			
特集 学びを活かす新入社員教育		企業と人材	1031	2015.9
プレーヤースキルとリーダーシップの視点で自律型人材を育成する	吉田実			
新入社員には，まず食生活の基本を教えよ	佐藤智春			
大学4年生のリアルと働くことへの思い（匿名座談会）	ファシリテーター： 佐藤真一			
68. 安全衛生管理				
ストレスチェック義務化と法的留意点	増田陳彦	労働法学会 報	2597	2015.5.15

特集 働く人の心と体の健康——組織の活性化に向けた人事管理		ビジネス・レーパー・トレンド	486	2015.9
自ら考え行動する人材を育成することで健康な職場づくりを实践（インタビュー）	巴政雄			
企業における社員の健康管理と休職・復職時の対応	奥田栄二, 郡司正人			
ストレスチェック制度の意義と企業に求められる対応	山本晴義, 吉野聡			
69-2. 高齢者雇用				
特集 知識と経験を活かし、地域再生に貢献する		エルダー	37・8	2015.8
地域再生に貢献する高齢者の就労について	秋山弘子			

V 労働・社会政策

70. 総記				
都道府県の再生可能エネルギー政策の現状と課題	関川千恵美	人文社会科学研究（千葉大）	31	2015.9
特集 原発再稼働とエネルギー自治		月刊自治研	668	2015.5
過酷事故のリスクをだれが負うのか	伴英幸			
広がる「市民電力」、強まる逆風	竹村英明			
電力システム改革は進むのか	高橋洋			
市民共同発電所で地域を元気に！	山本享志			
エネルギーの地産地消をめざして	生田浩二			
バイオマス産業都市・真庭の挑戦	江崎仁			
特集 持家社会のリスク——空間の生活保障を展望する		生活経済政策	640	2015.9
マイホームと個人／家族化	平山洋介			
高齢者福祉における「住まい」の保障	井上由起子			
貧困女子と居住貧困	葛西リサ			
住まいの再構築という視点とユニバーサルデザイン	菅野真由美			
76. 社会保障政策				
子ども・子育て新制度での保育は	実方伸子	議会と自治体	211	2015.11
新制度を理由に育休退園を強行（埼玉・所沢市）	矢作いづみ	議会と自治体	211	2015.11
保険者概念の変質	江口隆裕	週刊社会保障	2822	2015.4.20
市町村国民健康保険制度の財政構造と課題	李忻	週刊社会保障	2822	2015.4.20
NDBの現状と課題	野口晴子	週刊社会保障	2845	2015.10.12
ドイツ介護保険の抜本的改革の行方	小柳治宣	週刊社会保障	2845	2015.10.12
育休退園と保育の必要性	大原利夫	週刊社会保障	2846	2015.10.19
特集 共済の灯を消してはならない！ パート7——第8回 共済研究会シンポジウム——		賃金と社会保障	1644	2015.10下旬
保険と共済の存在意義	大植正一			
保険・共済の歴史的社会的役割（講演）	本間照光			
日本の共済理論研究（シンポジウム）	石塚秀雄			
共済の意義と役割（シンポジウム）	宮地朋果			
保険産業の役割と課題（シンポジウム）	松浦章			
社会保障の給付要件としての貢献・地位・地位の積み上げに関する考察	星野秀治	社会関係研究（熊本学園大）	20-1	2014.12

特集 貧困克服、人権としての社会保障を		月刊全労連	225	2015.11
静岡富士病院廃止反対のたたかい	岸田重信			
憲法 25 条に基づく権利保障としての社会福祉事業の充実を	澤村直			
若者も高齢者も安心できる年金制度へ 年金引下げは憲法違反、4000 人が起ちあがる	田中諭			
神奈川における社会保障改悪反対、充実のたたかい	佐々木滋			
いのちの最終ラインを守れ！ 憲法 25 条の「壊憲」許さず、自治体とともに住民生活を守る	竹内創	月刊労働組合	615	2015.10
貧困層拡大が拍車	村山正栄			
特集 医療・介護大改悪と憲法 25 条		経済	237	2015.6
医療・介護の一体的見直しがねらうもの	横山壽一			
介護保険サービス抑制の問題点	井口克郎			
介護保険大改悪に抗して	日下部雅喜			
現場から見た「介護大改悪」と課題	米沢哲			
介護報酬引き下げによる福祉労働者への影響	西浦哲			
社会保障制度改悪に人権の旗を掲げよう	井上英夫	社会保障	460	2015. 初夏
特集「医療保険制度改革関連法案」の廃案を				
新しく地域社保協を立ち上げて	上原成郎			
子どもの医療費助成制度、現物給付の扉を開けた！	寺越博之			
安全・安心の医療・介護を実現する東京集会を開催	寺川慎二			
介護保険改悪実施ゆるさない！	山元美奈子			
特集 社会保障改革の動向と対抗		賃金と社会保障	1631	2015.4 上旬
社会保障改革の動向と障害者福祉のゆくえ	伊藤周平			
特集 生活保護基準引下げに対抗する		賃金と社会保障	1631	2015.4 上旬
新人法律家による生活保護法的支援の意義	白木敦士			
医療と介護の連携強化の方向へ 介護報酬のマイナス改定は問題（インタビュー）	鈴木邦彦	社会保険旬報	2599	2015.4.1
医薬分業の過去、現在、将来	漆畑稔	社会保険旬報	2599	2015.4.1
国保改革と保険者機能の強化	石田重森	週刊社会保障	2828	2015.6.8
福祉国家の日韓比較からの新たな問題提起	金成垣	週刊社会保障	2830	2015.6.22
新興国の医療保障制度情報を把握する意義（下）	玉川淳	社会保険旬報	2611	2015.8.1
マイナンバー制度	野口晴子	週刊社会保障	2834	2015.7.20
「援商品化」概念の可能性を考える	森周子	週刊社会保障	2834	2015.7.20
闘病生活からみた医療	増田雅暢	週刊社会保障	2838	2015.8.17
フランス医療と医療制度の最近の変化	真野俊樹	週刊社会保障	2839	2015.8.24
精神障害者に対する医療・福祉の充実について	米山正敏	週刊社会保障	2839	2015.8.24
見直すべき社会保険料の逆進性	小塩隆士	週刊社会保障	2840	2015.8.31
77. 社会福祉・貧困・就業支援政策				
特集 子どもの貧困		婦人通信	678	2015.6
権利保障としての子どもの貧困対策推進を	湯澤直美			
定時制高校生に生活と学びの保障を	鈴木敏則			
特集「子ども・子育て」の現状と課題		社会分析	42	2015.3
発達障害児の母親が抱える生活困難と社会参与についての研究	山下亜紀子			
家族としての非血縁児養育	吉田菜穂子			
地域で支える子育て支援参加者のコミュニティモラル	林寛子			
地域福祉の主流化とケア活動	片桐資津子			
戦後の少子化政策と家族の少産化志向	佐々木美智子			

福祉事業を根本変質させる社会福祉法改悪は撤回を	山崎光弘	議会と自治体	211	2015.11
過疎地域に居住する高齢者の介護サービス利用に関する分析	杉井たつ子	厚生の指標	62-12	2015.10
原発被災地の介護の復興	磯部文雄	社会保険旬報	2617	2015.10.1
特集 介護報酬 2015 年改定		社会保障	460	2015. 初夏
介護報酬 2015 年改定は何をもたらすか	林泰則			
特集 介護は労働に何を問うのか		日本労働研究雑誌	658	2015.5
超高齢社会の日本における介護をめぐる法制度の現状と課題	稲森公嘉			
介護労働力不足はなぜ生じているのか	花岡智恵			
家族介護とジェンダー平等をめぐる今日的課題	斎藤真緒			
仕事と介護における「両立の形」と「企業に求められる両立支援」	矢島洋子			
ケアマネジャーによる仕事と介護の両立支援の現状	松浦民恵, 武石恵美子, 朝井友紀子			
外国人介護福祉士候補者の実務研修後の技術評価と就労意向	伊藤鏡	福祉社会開発研究 (日本福祉大)	10	2015.3
小平市における障がい者福祉計画策定と今後の課題	瀧口優	和光大学現代人間学部紀要 (和光大)	8	2015.3
特集 困りごとをともに考える地域づくり——生活困窮者の自立と支援		月刊福祉	98-9	2015.8
生活困窮者自立支援制度はなぜ創設されたのか	熊木正人			
困りごとをともに考える地域づくりのために (インタビュー)	宮本太郎 聞き手: 後藤千恵			
子どもの貧困対策法と貧困の概念	畠中亨	生活経済政策	640	2015.9
特集 真の障害者虐待防止の実現を! ——リレー連載 第8回 障害者権利条約実現への道 その8——		賃金と社会保障	1638	2015.7 下旬
障害者虐待防止法改正に向けて	山本真理			
医療的ケアを必要としない障がい者が24時間介護を勝ち取った事例	浅井亮, 大江智子			
78. 労働法・社会保障法				
有期労働者に関する特措法解説	武田康祐	労働法学研究会報	2603	2015.8.15
近時の裁判例から考える休職制度のあり方	野川忍	労働法学研究会報	2596	2015.5.1
特集 労働契約法二〇条裁判		労働法律旬報	1839	2015.5 上旬
労契法二〇条を活かすための視点と論点	深谷信夫			
日本郵便・東日本訴訟の現状と今後の課題	水口洋介			
非正規労働者への差別是正を求めて	河村学			
雇用形態による著しい差別は人としての尊厳を奪う	滝沢香, 青龍美和子, 今野久子			
有期契約労働者と無期契約労働者との間の「労働条件の相違」	中島光孝			
定年後再雇用の有期契約社員と定年前の無期正社員の賃金格差	花垣存彦			
若手の教育・研究者をめぐる労働法上の問題	浜村彰	日本労働研究雑誌	660	2015.7

特集《シンポジウム》労働組合法立法史の意義と課題		日本労働法学会誌	125	2015.5
報告の趣旨と構成	野川忍			
労働組合法立法過程にみる労働組合の規制の変容	富永晃一			
団体交渉過程の制度化、統一的労働条件決定システム構築の試みと挫折	竹内（奥野）寿			
昭和24年労働組合法の立法過程と不当労働行為制度	中窪裕也			
昭和20年・24年労組法における労働委員会制度の生成	野田進			
労使関係論からみた昭和24年労組法改正過程	仁田道夫	中央労働時報	1191	2015.5
会社更生手続下でなされた更生管財人ディレクターらの発言にかかる不当労働行為の成否	池田悠			
79. 労働判例・社会保障判例				
大阪・泉南アスベスト（一陣）事件・最高裁第一小法廷判決		労働法律旬報	1837	2015.4 上旬
大阪・泉南アスベスト（二陣）事件・最高裁第一小法廷判決		労働法律旬報	1837	2015.4 上旬
東日本旅客鉄道（減給処分等）事件 東日本旅客鉄道（出勤停止処分等）事件	最高裁判所第一小法廷	別冊中央労働時報	1478	2015.5
東京都・都労委（日本航空乗員組合等）事件	東京地方裁判所	労働判例	1106	2015.4.1
三井金属鉱業ほか1社（じん肺）事件	岐阜地方裁判所	労働判例	1106	2015.4.1
L館事件	最高裁判所第一小法廷	労働判例	1109	2015.5.15
東京電力ほか3社事件	静岡地方裁判所	労働判例	1109	2015.5.15
サン・チャレンジほか事件	東京地方裁判所	労働判例	1109	2015.5.15
有料老人ホームに求められる役割と責任	矢田尚子	週刊社会保障	2840	2015.8.31
最近の重要労働判例の動きについて（講苑）	小宮文人	中央労働時報	1193	2015.7
トクヤマエムテック・トクヤマ事件	東京地方裁判所	別冊中央労働時報	1481	2015.7
北海道・北海道教育委員会事件	札幌高等裁判所	別冊中央労働時報	1481	2015.7
健康保険組合の被扶養者の地位保全仮処分命令申立事件（第1審：東京地決 平25・6・25、抗告審：東京高決 平25・8・15）	奥貫紀文	賃金と社会保障	1638	2015.7 下旬
健康保険組合被扶養者の地位保全仮処分命令申立事件		賃金と社会保障	1638	2015.7 下旬
80. 労働委員会				
江戸川学園不当労働行為再審査事件		中央労働時報	1191	2015.5
ファルコSDホールディングス不当労働行為再審査事件		中央労働時報	1191	2015.5
ゲオホールディングス不当労働行為再審査事件		中央労働時報	1191	2015.5
ロイヤル不当労働行為再審査事件		中央労働時報	1191	2015.5
津軽海峡フェリー事件		別冊中央労働時報	1478	2015.5
江戸川学園事件		別冊中央労働時報	1478	2015.5
廣川書店事件		別冊中央労働時報	1481	2015.7

VI 世界労働

90. 総記				
世界を動かしたはじめた低賃金労働者	神部紅	月刊全労連	225	2015.11
91. アジア				
最低賃金の政府案に使用者が猛反発 背景に「なりすまし児童労働」の構造が	中嶋滋	連合	28・5	2015.8

非正規労働者問題の解決なくして社会の再生はない 労働組合こそ、その役割を果たすことができる	呉学殊	連合	28・6	2015.9
現職大統領による「クーデター」 国軍内の熾烈な権力闘争が表面化	中嶋滋	連合	28・6	2015.9
93. ヨーロッパ				
ドイツ・小売業労働者のストライキから学ぶ	岩佐卓也 コメント：藤内和公	職場の人権	90	2015.3
ナチス・ドイツの労働者動員	池田浩士	職場の人権	91	2015.7
95. 北アメリカ				
アメリカで広がる「請負労働」	山崎憲	月刊労働組合	615	2015.10
中島醸著『アメリカ国家像の再構成——ニューディール・リベラル派とロバート・ワグナーの国家構想』（書評）	佐藤千登勢	大原社会問題研究所雑誌	678	2015.4
99. ILO, 国際機関				
インフォーマル経済に対する初の国際労働基準	布施恵輔	月刊全労連	222	2015.8
ILO「世界の雇用および社会の見通し～仕事の性質の変化 2015年版」		連合総研レポート DIO	307	2015.9
特集 第27回国際労働問題シンポジウム ディーセントな雇用創出と雇用制度改革		大原社会問題研究所雑誌	678	2015.4
2014年のILO総会について	上岡恵子			
第6議題の議論について	上村俊一			
政府の立場から	堀場絵里香			
労働者の立場から	向澤茂			
使用者の立場から	松井博志			
労働法制の展開と課題	野川忍			
パネルディスカッション（パネルディスカッション）				
参考資料（シンポジウム）				

VII 歴史

101. 生活・労働史（日本）				
労働者の企業経営・生産への発言	小池和男	経営志林（法政大）	52・2	2015.7
103. ジェンダー・フェミニズム・女性史（日本）				
廃娼運動誕生の苦悶	関口すみ子	女性史学	25	2015.7
104. ジェンダー・フェミニズム・女性史（外国・国際）				
「女性徴兵」はいかにして可能になったか	林田敏子	女性史学	25	2015.7
空軍は淑女を歓迎する？	フィア・スンデヴァル 訳：林田敏子	女性史学	25	2015.7
108. 労働運動史（日本）				
総評運動と社会党と私（インタビュー）	富塚三夫	大原社会問題研究所雑誌	678	2015.4
太田薫氏と労働運動を語る（インタビュー）	塚田義彦	大原社会問題研究所雑誌	683・684	2015.9・10
110. 社会主義運動史（日本）				
日本社会党青年部再考[NOI 9条改憲・人権破壊]（明石書店、2007年）をもとに（インタビュー）	高見圭司	大原社会問題研究所雑誌	682	2015.8
社会党生活32年 社会民主主義とマルクス主義の狭間で（インタビュー）	横山泰治	大原社会問題研究所雑誌	683・684	2015.9・10